

### 【自己診断シート】

利回りの計算を伴う学習に入る前に、主要な語句を確認しておきます。

Aの解説：

資産形成の手段として、債券が売買されていることを確認します。

Bの解説：

利率に比べると難度が高いため、設問でも「聞いたことがあるか」という問いにしています。

Cの解説：

広義では「利子率、利率、利回り、割引率」などを含めて指す金利について、コンテンツでは“世の中の金利”という意味で使います。

設問2の解答：

複雑な利回りの計算の学習の前に、利率の考え方を確認しておきます。計算は「 $3 \div 100 = 0.03$ 」よって3%です。

---

### 【確認テスト】

[解答] 1 : B    2 : C    3 : B

[解説]

1 : 債券は株式と同じく、市場では価格が変動し、時価で売買されています。債券の価格は、その時々の中の中の金利などの影響を受けて、日々変わります。そのため、買ったときより安い価格で売ることになれば、損をしてしまう場合もあります。

2 : 債券のように価格が変動するものの場合、元本の増減も加味して収益性を測らなくてはなりません。利回りは債券の収益性を測るモノサシとなります。

3 : 債券の価格と金利は逆の動きをします。つまり、世の中の金利が上がれば債券価格は下がり、世の中の金利が下がれば債券価格は上がります。